

追浜 未来のまちづくりシンポジウムの開催

○令和6年1月、追浜駅周辺で様々な事業が推進されている中、まちの既存ストックや将来イメージを地域の皆様と共有する場として、**追浜未来のまちづくりシンポジウム**が開催されました。

○パネルディスカッションには、追浜連合町内会や観光協会、地元関連企業の代表者などがパネリストとして参加され、熱量の高いディスカッションが行われました。

開催概要

日時：令和6年1月21日（日） 14時～16時
会場：追浜コミュニティセンター北館・集会室
参加者数：約320名
次第：
【第一部】・事業紹介「追浜駅周辺の事業紹介」（横須賀市・横浜国道事務所）
・基調講演「追浜のまちづくりとこれからの都市デザイン」（横浜国立大学 野原准教授）
【第二部】・パネルディスカッション「まちの課題とまちづくりへの期待」

○パネルディスカッションでの主な意見

- ・現状の不足を補完し、周辺と一体感のあるまちづくりを行うべき
- ・スポーツを中心としたまちづくりへ積極的に連携すべき
- ・追浜の魅力は人であり、災害時にも役立つ人の繋がりを構築すべき
- ・まちづくりへ貢献する、地域が笑顔になるイベントが必要
- ・再開発事業と国道16号交差点改良事業は同時に進めるべき
- ・横須賀市、企業、町内会の3者の連携が必要であり、市には行政として積極的な連携・支援を期待
- ・交通事業者も、交通利便性の向上に向け、社会実験等を通じ地域と連携していくことが必要
- ・子育てしやすく住みやすい町の認知のためには、住居供給が必要
- ・地域との密着が非常に重要であり、住民や企業との連携が重要
- ・絶好の転換期にあり、地域住民・企業などの資源の活かし方についても積極的に意見を拝聴し検討を進めていくべき



基調講演



特設展示

シンポジウムのリーフレット

社会実験「OPPAMA DECK WEEK」を開催

○令和6年10月、将来的な空間の在り方や活用方針の検討材料とするため、滞留空間の設置、地域企業等による活動紹介パネルの設置、飲食物販のマーケット等の実施からなる社会実験「OPPAMA DECK WEEK」が、1週間にわたり実施されました。

【開催概要】

目的： 将来的な空間の在り方や活用方針の検討材料とする。
また、実施過程で地域主体と連携することや、実施によってまちの変化の機運を高めることも目指す。

日程： 2024年10月19日(土)～25日(金) 10:30-18:00
最終日は17:00まで

場所： 追浜駅前デッキ

内容 ●日常の居場所づくり(オッパマデッキプレイス)
：10月19日(土)～25日(金)

- ・市民が自由に休憩したり、軽く飲食のできる 滞留空間を設置する。
 - > 電車やバスの待合時間に休憩できる
 - > 子どもも滞在しやすく自由な使い方ができる
 - > 集まって飲食できる
 - > 一人で仕事や勉強ができる
- ・地域の企業による簡易的な活動紹介のパネル展示を行う。
- ・学生による追浜の魅力紹介・意見収集、本棚設置を行う。

後援：横須賀市経営企画部まちづくり政策課
協力：追浜観光協会、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）、
京浜急行電鉄株式会社、日産自動車株式会社追浜工場、
株式会社横浜DeNAベイスターズ

●マーケットによる賑わいづくり(オッパマデッキマーケット)
：10月19日(土)、20日(日)

- ・追浜観光協会等との連携により、地域関係者が出店する 飲食・物販のマーケットを実施する。

【開催結果】

来場者数： 平日 約100人/日 休日 約220人/日
※平日は10/22(火)・24(木)・25(金)の平均値、休日は10/20(日)の数値

- アンケート結果： (回答数144件)
- ・将来のデッキに滞在スペースがあると良いか
→「とても思う・思う」：96%
 - ・あったらいいと思うアイテム
→「長方形のベンチ」「芝生」ほか
 - ・追浜駅前で企業や学生の情報発信が出来るとうい
→「とても思う・思う」：82%
 - ・今後マーケットが開催されたら利用したいか
→「とても思う・思う」：77%

その他の意見

- ・バリアフリーなデッキになるとよい
- ・雨風だけでなく気温にも左右されず過ごしたい ほか



ポスター



社会実験の様子

【参考】「追浜えき・まち・みちデザインセンター」によるまちづくりの取り組み

「追浜えき・まち・みちビジョン」の策定

○令和7年3月、「追浜駅周辺地区グランドデザイン」を具体化・深度化し、追浜のまちづくりの方向性を示す「追浜えき・まち・みちビジョン」が策定されました。

追浜えき・まち・みちビジョンの検討経緯

○まちの声の収集

本ビジョンは、追浜えき・まち・みちデザインセンターの拠点に寄せられた声や、シンポジウム・社会実験で実施したアンケートなどの「まちの声」をふまえて検討を行っている。



追浜えき・まち・みちデザインセンター

2024年1月21日シンポジウム

2024年10月19日(土)～25日(金)社会実験

○ビジョン検討の流れ

- ・追浜地域のみなさまとまちの将来像について検討を行うため、「ビジョン検討委員会」「ビジョン検討ワーキング」を開催した。
- ・「ビジョン検討委員会」で本ビジョンの方向性に関する議論を行い、「ビジョン検討ワーキング」ではワークショップ形式でビジョン案を深度化した。



ビジョン検討委員会の様子



ビジョン検討ワーキングの様子

○追浜えき・まち・みちビジョン

本ビジョンのコンセプトである「OPPAMA STEP」には、追浜が積み重ねてきたステップである「多様な活動と人のつながり」の継承、そして新たなステップとなる「人々のチャレンジ」を応援することにより、一歩ずつ**ステップアップ**していこうという思いを込めている。



追浜えき・まち・みちビジョン表紙



追浜えき・まち・みちのコンセプト（ビジョンより抜粋）